

第 95 回 まちづくり塾記録

小笠原ってどんなところ？

～私の見た小笠原～

河岡裕さん(林野庁 関東森林管理局 天竜森林管理局
平成 22 年 3 月 20 日(土)
13:30 ~ 15:00

1. 天竜森林管理所の業務

林野庁 管理局(7ヶ所) 管理署(23ヶ所)
四市一町(浜松、掛川、袋井、湖西、森)の国有林を管理、約 3000ha 天然林と人工林と半々
ひとつひとつの森林をそれぞれの目的に応じて適切な管理を行う。

2. 小笠原諸島の位置・名称

東京都特別区、日本列島の南南東の約 1,000km 30 余の島々からなる・父島は沖縄とほぼ同緯度。
・小笠原群島と火山列島よりなる。
・ 鴛島列島・・・鴛島、嫁島、北ノ島他
・ 父島列島・・・父島、兄島、弟島他
・ 母島列島・・・母島、姉島、妹島他
・ 火山列島・・・北硫黄島、硫黄島、南硫黄島
・ 孤立した島・・・西之島、南鳥島(日本で一番東の島)、沖ノ鳥島(日本で一番南の島)

3. 小笠原の歴史

父島で石器が発見されているが詳細な時代は不明。
1543・スペイン人によって母島が発見されたとみられる。
1593・小笠原貞頼が発見したという説がある。
1676・紀州の船が母島に漂着、八丈島経由で下田に生還、島の存在を幕府に報告、現在ではこれが最初の発見報告と考えられる。
19 世紀・欧米の捕鯨船が寄航する。
1827・イギリスが領有を宣言。
1830・欧米人が父島に移住民となる。
1847・ジョン万次郎が米捕鯨船で小笠原に寄航。
1857・ペリーが寄航。
1861・幕府が小笠原の領有を宣言、測量を行う。
1876・明治 9 年小笠原島の日本統治を各国に通告(日本領有が確定)。
1879・明治 12 年日本人 6 名が母島に定住。

4. 小笠原への旅

本土から父島へ(小笠原海運)
東京港(竹芝桟橋)と父島(二見港)を結ぶ貨客船(観光シーズンは 3 日に 1 便、オフシーズンは 6 日に 1 便就航)片道 22,570 ~ 56,490 円・船の定員 1,031 人(通常 300 ~ 400 人)
東京港(月島ふ頭)父島(二見港)母島(沖港)を結ぶ貨物船がある。
小笠原の生活は船によって左右され、観光客がいなくなると、とても静かになる。民宿、ペンションのみでキャンプや野営はできない(乗船するとき宿が取ってあるか確認される)。
一般住民が居住し住民登録をしているのは父島、母島のみ、硫黄島には自衛隊、南鳥島には気象庁、海上保安庁の施設がある、それ以外は無人島である。
気温・最低 15 ~ 16 最高 35 降水量は少なく(島によって違う)日陰に入るとすごしやすい。
父島と母島を結ぶ貨客船 1 日 0.5 ~ 1 往復(2 時間)がある
ホエールウォッチング・シュノーケリング・ダイビング・鍾乳洞等で観光客が訪れる。

5. 世界遺産

文化遺産・・・689件・・・万里の長城、アンコールワット遺跡、タージ・マハル他
複合遺産・・・25件・・・マチュピチュ、タスマニア他
自然遺産・・・176件・・・イグアス国立公園、グランドキャニオン国立公園、イエローストーン他
危機遺産・・・(後世に残すのが難しい)・・・ガラパゴス他

6. 日本の世界遺産

文化遺産・・・石見銀山遺跡、厳島神社、白川郷五箇山の合掌造り集落、原爆ドーム、姫路城、
古都奈良の文化財、日光の社寺
自然遺産・・・屋久島、白神山地、知床
複合遺産、危機遺産・・・なし

7. 小笠原諸島の世界遺産としての価値

- ・ 小笠原諸島は過去に一度も大陸と陸続きになったことが無い海洋島であり、独自の進化を遂げた貴重な動植物が数多く生息、生育し特異な森林生態系を有していることから自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存等の目的としている。
- ・ 平成15年、国の「世界自然遺産候補地に関する検討会」で知床・琉球諸島と共にユネスコ世界自然遺産の候補地に選定され、選定後、登録推薦に向け国や東京都と連携して今年推薦書をユネスコに提出した。
- ・ 自然環境の保護担保措置や外来種の問題等の課題解決がある。
- ・ 島の面積の約7割が国有林、84%が生態系保護地域。
- ・ 世界遺産になると観光客が増え、トラブルが起こる。(白川郷は60万140万に観光客が増えた)
- ・ 外来種の対策をぬきにして世界遺産は無理である。(最大の外来種は人間である)

8. 世界遺産登録の手続き

今年、政府が推薦書をユネスコに提出・・・現地調査・・・判定・・・登録・・・となる。

質疑・応答

Q 観光客が行くには船しかないのか。

A 船しかない、費用が10万円程掛かる、3日あれば往復は可能(父島、母島を周れる)

Q 交通手段はどうにかならないか

A 以前高速船を走らせる予定だったが燃料代が掛かりすぎる為中止になった。

Q 以前行ったときにヤギがいたが、たくさんいるのか。

A 鴫島、西島、兄島にはいない、父島にはいる。

将来的には根絶しようと思うが捕まえるより増えるほうが多い。大事なところに柵を張りヤギや猫が入らない様にしている。

Q 飛行場を作る話は進んでいるのか。

A 住民の7割が希望しているが観光客の制限をしないといけない、10年前から候補地はあるが希少な植物や珊瑚があるため難しい。当分は無理ではないか。

Q 食料自給率は？

A 水田は無い、食糧は輸送に託す。根菜、イモ類が作られている。

父島・・・キウイ・パッションフルーツ・しかく豆(ソラマメに似ている)などが作られている。

母島・・・湿気が多い、耕作物は多い。

Q 島の生命線は交通だと思うが政府からの援助はあるのか

A ない、小笠原丸は黒字なので無い。